



## 心のバリアフリー教育グッドプラクティス 応募資料

学校名	市原市立市原小学校
-----	-----------

ア 全校児童生徒数	204名 (令和4年5月1日現在)
イ 実践対象	<p>①②⑥⑦ 4～6年 101名</p> <p>③ 4年 31名</p> <p>④ 2・4・6年 100名</p> <p>⑤ 1・3・5年 104名</p> <p>⑧ 全校児童 204名</p> <p>⑨ 5年 29名</p> 
ウ 実践内容	<p>①心のバリアフリー教育についてガイダンス授業 「バリアフリーって何だろう」</p> <p>②車いす体験・高齢者疑似体験</p> <p>③特別支援学校訪問・交流</p> <p>④あすチャレ！車いすバスケ体験</p> <p>⑤LIXIL ユニバーサルラン（スポーツ義足体験）</p> <p>⑥認知症サポーター養成講座（予定）</p> <p>⑦LGBTQに関する授業（予定）</p> <p>⑧増田太郎講演ライブ（予定）</p> <p>⑨妊産婦体験（予定）</p>  
エ 実践の普及啓発	<p>②～⑧保護者参観の呼びかけ</p> <p>①～⑤心のバリアフリー教育便り「B-Free」の発行や便りを学校Webページに掲載することで活動の様子や児童の感想を周知した。</p> <p>⑥～⑨についても同様の取り組みを予定。</p>
オ 実践成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バリアフリー・ユニバーサルデザイン・ダイバーシティ・シンボルマークに関して初めて知る子が多く、理解することができた。</li> <li>・ 物のバリアフリーで解決できても、心のバリアフリーがないと本当のバリアフリーにならないことへの理解が深まった。</li> </ul> 

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 困っている人がいたら、声をかけてみようという意識が高まった。</li> <li>・ 参観したり、便りを読んだりした保護者から、とても良い取り組みなので継続して欲しいと要望があった。</li> </ul>
カ 次年度の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ①②③⑥⑦⑨に関しては、費用がかかるわけではないので、継続して取り組んでいきたい。</li> <li>・ ④⑤⑧に関して費用がかかるが、それ以上の効果があるので、年1件ずつでも継続して取り組みたい。</li> <li>・ 「世の中にどんなバリアがあるか、そのバリアに対して、どのように改善していけるか」子ども達に課題意識を持たせ、解決ができるようにしていきたい。</li> </ul>
キ 添付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心のバリアフリー教育便り「B-Free」No. 1～5</li> </ul>